

卒業研究

単位数：6単位(180時間)

責任者：専任教員
学年・学期：第3学年・前期／後期

◆一般目標(GIO)

臨床検査学は極めて広範囲に、かつ急速な進歩を続ける中、毎年、学生に求められる知識は増加する一途である。現在の臨床検査技師教育体制は、3年間で膨大な科目を修得しなければならない。したがって、学生は教科書やノートに書き込まれた内容をそのまま記憶するための勉強に片寄る危険性があり、その結果応用力の乏しい臨床検査技師を世に送る可能性がある。卒業研究の作成は研究の仕方、材料の集め方、まとめ方、発表の仕方を会得することにより、将来への発展的な成長を促す。物事に対して理解力を深め、自ら問題を提起し、自己のもつ最大限の能力を発揮することで、未知の体験に対し積極的に解決する能力を養う。

◆到達目標(SBOs)

1. 疾病の病因、臨床所見、検査結果の評価、診断、治療などを体系的にとらえまとめることができる。
2. 要旨を作成することができる。
3. 研究結果を発表することができる。
4. 研究結果をレポート用紙20枚以上にまとめ期限内に提出することができる。

◆学習方法

目標を達成するための個別指導をおこなう。学生は研究テーマについて自ら学び、本文を作成し要旨にまとめ、研究成果を発表する。

◆評価方法

本文、要旨の内容及び発表態度を総合的に評価する。

◆教科書

研究内容により該当する科目の教科書を用いる。

◆参考書

臨床検査技師国家試験問題集 日本臨床検査学教育協議会編 医歯薬出版(株)
臨床検査技師国家試験ファースト・トレーニング 医歯薬出版(株)
必要に応じて文献検索を行う。

◆要旨提出日 10月 上旬

◆発表日 10月 下旬

◆本文提出日 10月 下旬

◆教員紹介

担当教員は病院での勤務経験に基づいて、臨床検査技師養成に向けた授業を展開する。

令和6年度 卒業研究テーマ	
アニオンギャップ	結核症
染色体異常	ビタミン欠乏症
溶血性貧血	動脈疾患(動脈硬化症/動脈瘤)
アレルギー性疾患	ネフローゼ症候群
胃癌	虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)
ウイルス感染症	不整脈
黄疸	多発性骨髄腫
原虫(マラリアを除く)	肺癌
血圧(高血圧症/低血圧症)	下垂体前葉機能亢進症・低下症
白血病	下垂体後葉機能亢進症・低下症
中毒(有害物/自然毒)	播種性血管内凝固症候群
急性糸球体腎炎	間質性肺疾患
気管支喘息	悪性リンパ腫
食中毒	膠原病
変性・脱髄性疾患	慢性閉塞性肺疾患(COPD)
ウイルス性肝炎	髄膜炎
肝硬変	高脂血症と
肝癌	メタボリックシンドローム
副腎疾患	先天性出血性疾患
副甲状腺機能亢進症・低下症	(血友病、von Willbrand病)
後天性免疫不全症候群(AIDS)	消化性潰瘍(胃潰瘍、十二指腸潰瘍、
再生不良性貧血	Zollinger-Ellison syn)
子宮癌	脳血管障害
マラリア	(脳出血/脳梗塞/くも膜下出血)
巨赤芽球貧血	小球性低色素性貧血
性行為感染症	(サラセミア/鉄欠乏性貧血)
発作性夜間血色素尿症	甲状腺機能亢進症(Basedow病)/
真菌	低下症/橋本病
先天性代謝疾患	筋原性疾患(進行性筋ジストロフィー・
鉄代謝異常(ヘモクロマトーシス)	筋緊張性ジストロフィー・重症筋無力症)
糖尿病	